

# 二本松の魅力発信

## 『地域おこし協力隊』活動中！

### 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市部から地方に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売、PRなどを通して、地域を活性化する取り組みです。

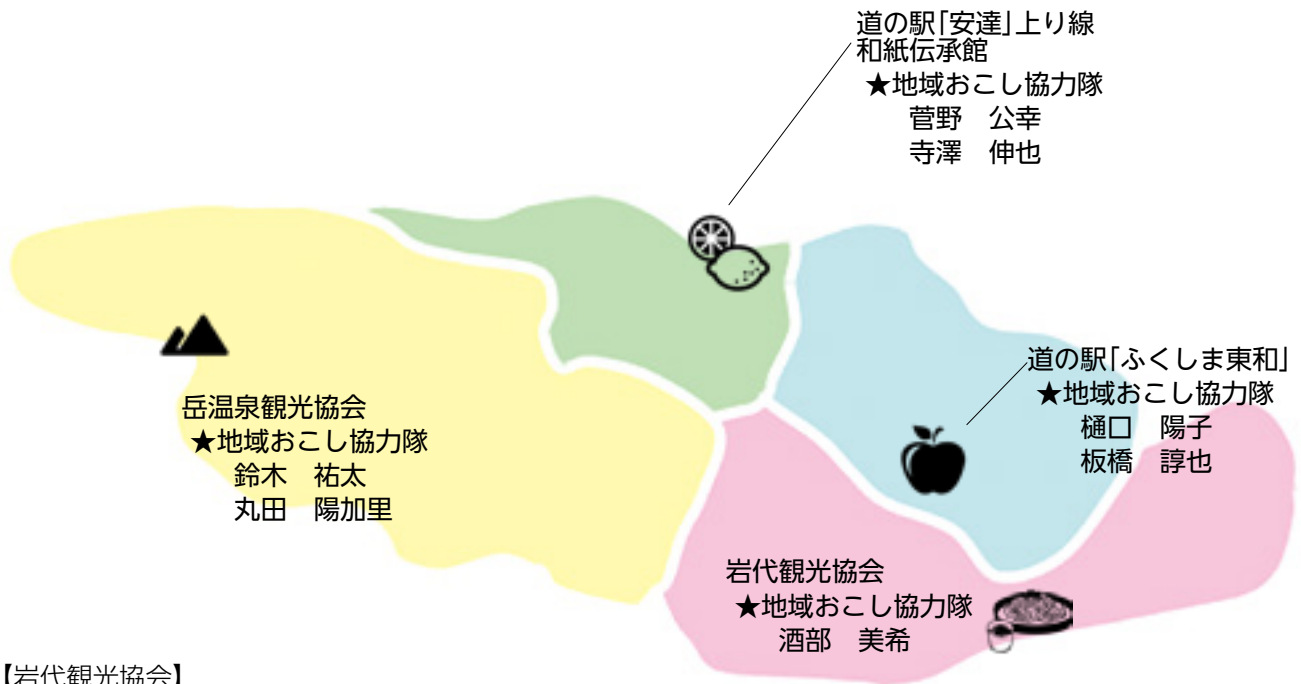
地方では、人口減少や高齢化が進み、人材や担い手が不足しており、このため、地方での生活を望む都市部の方を迎え入れ、地域の課題解決のために様々な分野で活動する協力隊員として活躍していただいています。

市では、平成26年度より都市部から人材を招き、これまで11人の隊員を受け入れ、現在は、7人の隊員が活動しています。

地域おこし協力隊の活動期間は3年以内となっており、市では、活動期間が終了した後も隊員が市に定住できるように支援を行っています。

協力隊員はさまざまな知識と、地域づくりへの「想い」を持った方々です。

協力隊員と一緒にまちづくりについて考えてみませんか。



### 【岩代観光協会】

●酒部美希隊員(会津若松市)

岩代地域の観光地やイベントをWEB等で発信。得意の4コマ漫画で岩代をPR。



岩代地域の方と意見を交わし誕生したキャラクターが、4コマ漫画で、二本松市内の名所を紹介しています。

### 二本松の魅力

地域おこし協力隊員は、□をそろえて「二本松にはたくさんさんの資源がある」と言います。

都市部を離れ、二本松市で生活を始めた協力隊員には、外から来たからこそ分かる「こほんまつの良い」が見えるようです。

地域おこし協力隊を通して、私たちが自身が二本松市の良さに気づき、それを伝えていくことが大切です。

## 【岳温泉観光協会】

### ●丸田陽加里隊員(神奈川県)【写真】

作成したパンフレットを手に笑顔で話してくれる丸田さん。岳温泉やあだたら高原の魅力をSNSやパンフレットでPRしています。パンフレットは大人気で、現在、増刷中。

得意の英語を活かし、外国人観光客の案内もしています。

『安達太良の良いところ』があったら、私に教えてください』

### ●鈴木祐太隊員(神奈川県)

ドローンによる空撮と動画撮影、編集が特技。安達太良山麓におけるサイクリングネイチャーツアーの事業化に取り組みます。



## 【道の駅安達「和紙伝承館」】

### ●菅野公幸隊員(東京都)

### ●寺澤伸也隊員(東京都)【写真】

2人は、和紙の原料となる「楮」や「トコロアオイ」を栽培しながら、紫式部、清少納言も愛用した千年の歴史をもつ手作りの上川崎和紙の技術を受け継ぎ、技術の習得を目指しています。

この日は、福島県観光物産交流協会のゾーイ・ヴィンセントさん(イギリス)が紙漉きを体験し、海外にも上川崎和紙が発信されました。



## 【道の駅「ふくしま東和」】

### ●樋口陽子隊員(東京都)【写真】

東京ではフレンチレストランのシェフ。ソムリエの資格も持っています。

地元でとれた野菜や「栽培わらび」を使ったメニューや商品開発、地元の伝統食の継承を目指しています。

写真は、田舎暮らし体験ツアーで東和地域を訪れた皆さんに、語りかける樋口さん。(写真右)

移住したからこそ分かる二本松の「良さ」や「魅力」を発信しています。



## 【道の駅「ふくしま東和」】

### ●板橋諄也隊員(東京都)

### 【写真】

農業後継者を目指し、農業を学びながら新規就農者の支援を行っています。

「誰かがやらなければならないなら、自分がやろう！」



地域おこし協力隊員を募集しています

市では、地域おこし協力隊員を募集しています。募集要項、応募方法等は左記へお問い合わせください。

### 募集人数

- ・ 菊人形等の魅力発信 1人
- ・ そばなどの地域特産物の生産・商品開発 1人

### ◎問い合わせ:

秘書政策課新エネルギー推進係

☎(24)7120

Fax(22)7023

地域へ目配り、地域をサポート

こんにちは、

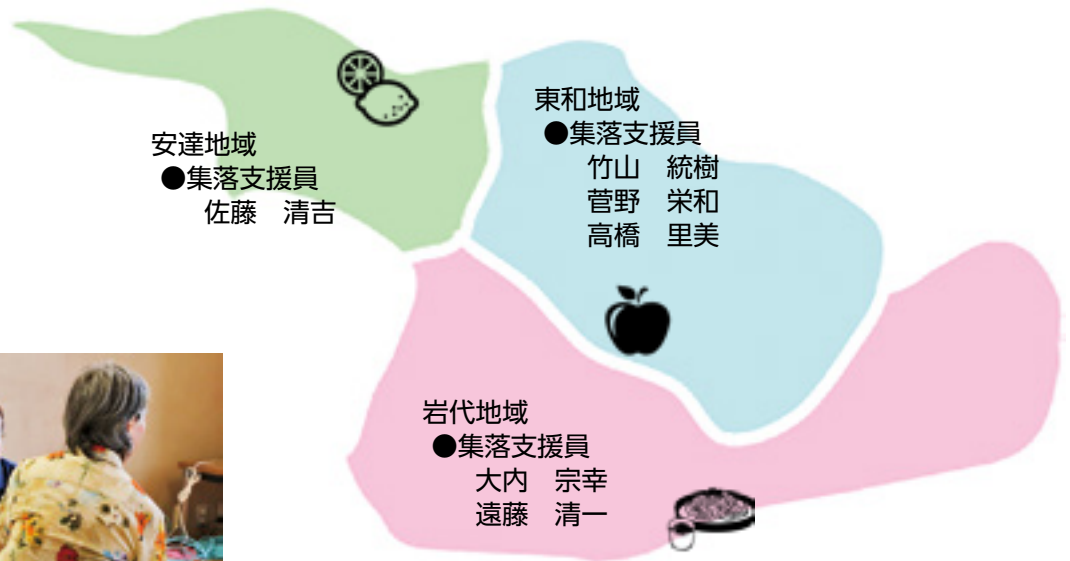
# 『集落支援員』です！

## 集落支援員とは

中山間地域の多くの集落が人口減少や高齢化の進展により、集落の維持や環境保全、伝統行事の保存継承などに課題を抱えています。

集落支援員は、市から委嘱を受け、集落の巡回、住民同士の話し合い等を通じて、集落の現状や課題を把握し、課題解決に向けた地域住民の自発的な取り組みのサポート役として活動しています。

支援員は、「ここに住んでいて良かった」と思える集落づくりを目指し「自分たちのできることから、コツコツとはじめよう」を合言葉に、集落の行政区長さん達と連携しながら、集落の維持活性化に向けた取り組みを進めています。



岩代地域での活動の様子  
地域で体操をしているところを訪問し、運動や健康づくりについての話をしています。

100年先の未来へ

岩代地域では、大内宗幸支援員、遠藤清一支援員の2人が活動しています。

大内さん達は、岩代地域の全ての自治会を回り、それぞれの自治会の様子をまとめた「集落カルテ」を作っています。自治会によっては、同じ集落にしながら、集落の中で顔を合わせる機会が少なくなっている地域もあり、そのような集落で、昔行っていたイベントを復活させたり、集落の定例会を行ったりして、集落の住民同士が「会える場所づくり」のお手伝いをしています。

また、自治会の運動会に、パラリンピックの公式種目である「ボッチャ」などのニュースポーツを取り入れたところ、参加人数が4倍になった取り組みもあります。

岩代地域には84の自治会がありますが、集落によって、状況も違えば、将来への課題も異なります。その課題に一つ一つ向き合いながら、50年後、100年後に集落が維持されることを目指して活動しています。



安達地域での活動の様子。  
それぞれの集落で、住民同士の話し合いが行われています。  
集落支援員は、その話し合いの場づくりや、話し合いの中で出てきた意見を、自分たちで実現させるサポートを行っています。



水舟地区(東和)での話し合いの様子  
元気な集落づくりについて考えました。



深田サロン(東和)の花植えの様子  
集落の人たちと一緒に活動しています。

## 地域のつながりを深める

安達地域では、佐藤清吉支援員が上川崎・下川崎地区を中心に集落の訪問と話し合いの場づくりを行っています。

地域からは、「最近、集落のつながりが薄くなってきた」などの声があり、皆で集える夏祭りや高齢者サロンを集落の皆さんと考えています。「地域のつながりを深め、次世代の育成が目標」と佐藤さんは話してくれました。

## 自分たちでやってみよう

東和地域では、竹山統樹支援員、菅野栄和支援員、高橋里美支援員の3人が活動しています。

地域の方と集会の場を多く設け、集落の男女別人口を示したりして、人口減少など、集落の現状を確認しています。例えば、集落内で集まる機会が少なくなってしまう現状を見て、百歳体操や花植えなどを通じて、住民同士が顔を合わせる機会を増やし、自分たちの集落を知って、より深く考えてもらう活動をしています。

## 集落支援協働事業補助金の活用について

市では、住民団体等が集落支援員と協働して実施する集落の維持および活性化事業に、助成を行っています。

**補助対象団体** 住民団体等  
**補助金の額** 10万円を上限

※詳細は、集落支援員又は各支所地域振興課にお問い合わせください。

〇平成30年度の活用例  
〇国士館大学生の受入事業  
(西谷区・寺坂区)

〇地域づくり講演会(JAふくしま未来東和支店)

## 集落支援員を募集しています

市では、集落支援員を募集しています。募集要項、応募方法等は左記へお問い合わせください。

### 募集人数

安達地域 2人  
岩代地域 1人

### 募集期間

8月15日(木)まで

### ◎問い合わせ:

・安達地域  
安達支所  
地域振興課地域振興係  
☎(23)9024  
Fax(23)8241  
・岩代地域  
岩代支所  
地域振興課地域振興係  
☎(55)2111  
Fax(55)3005



元気な集落を目指しましょう